

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 ウェーブロックホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7940 URL http://www.wavelock-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 木根 純
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 石原 智憲 TEL 03 (6830) 6000
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,381	—	1,118	—	1,297	—	954	—
29年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 965百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	97.36	95.95
29年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成29年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を開示していないため、平成29年3月期第2四半期の数値および平成30年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成29年4月10日に東京証券取引所市場第二部に上場したため、平成30年3月期第2四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、新規上場日から平成30年3月期第2四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	29,102	10,032	34.4
29年3月期	28,541	8,957	31.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,008百万円 29年3月期 8,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日（平成29年10月31日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績の予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,100	4.5	1,800	32.4	2,170	27.9	1,600	44.4	162.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（平成29年10月31日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績の予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	11,120,538株	29年3月期	11,120,538株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,202,973株	29年3月期	1,376,673株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	9,805,238株	29年3月期2Q	－株

(注) 平成29年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を開示していないため、平成29年3月期第2四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は平成29年11月2日（木）に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、欧米の政策不安や中国をはじめとする新興国経済の減速、地政学的リスクの高まり等もあり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、生産合理化や経費削減によるコストダウンと国内市場での更なるシェアアップを図るため、成長分野への経営資源の投入と販売の拡大を図ってまいりました。

この結果、当社グループ全体の売上高は143億81百万円、営業利益は11億18百万円、経常利益については、負ののれんの償却等により12億97百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億54百万円となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。なお、セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(インテリア事業)

インテリア事業については、新設住宅着工戸数が伸び悩む中、当社の業務資本提携先である(株)サンゲツの壁紙見本帳への当社グループ製品の掲載点数の増加等が、引き続き販売に寄与し、売上高は43億41百万円となりました。また、生産能力の増強による増産体制の構築、ならびに生産効率の向上による原価低減や継続的なコスト削減に努めた結果、セグメント利益は4億8百万円となりました。

(編織事業)

編織事業については、生活資材分野における園芸用品の防虫網、防草シート等が好調に推移したものの、網戸用品の販売が一部前年度に前倒しされたことや夏場の天候不順等の影響もあり、売上高は48億22百万円となりました。また、生産効率の向上による原価低減や継続的なコスト削減に努め、セグメント利益は5億53百万円となりました。

(産業資材・包材事業)

産業資材・包材事業については、産業資材分野において、建設および住宅関連業界での底堅い需要に加え、防煙垂壁用途の高透明不燃シートや間仕切りシート等が好調に推移しました。また、包材分野においては、コンビニエンスストア向けの食品容器が底堅く推移しました。この結果、事業全体の売上高は46億30百万円となりました。また、生産効率の向上による原価低減や継続的なコスト削減に努め、セグメント利益は1億96百万円となりました。

(アドバンステクノロジー事業)

アドバンステクノロジー事業については、金属調加飾フィルム分野においてインド・東南アジアにおけるエンブレム用途の新規採用や中国での自動車内装案件等が好調に推移し、北米向けや国内家電向け販売の開始もあり、国内内装案件の既存モデルの終了をカバーする形で順調に推移しました。PMMA/PC2層シート分野においては、中国市場向けの受注が低調に推移しました。この結果、事業全体の売上高は16億43百万円となりました。また、品質の安定化と生産効率の向上やコスト削減に努め、品質改善によりクレーム補償費が減少した結果、セグメント利益は1億30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は159億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億96百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2億33百万円、受取手形及び売掛金が5億98百万円増加したことによるものであります。固定資産は131億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億70百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、291億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億60百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は110億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億31百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が4億46百万円増加したことによるものであります。固定負債は79億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億45百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が7億1百万円、負ののれんが1億94百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、190億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億13百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は100億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億74百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を9億54百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は34.4%（前連結会計年度末は31.2%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して2億33百万円増加し22億95百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億75百万円となりました。これは、負ののれん償却額1億94百万円、売上債権の増加額6億円、法人税等の支払額2億38百万円等による資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益12億98百万円、減価償却費4億83百万円、仕入債務の増加額4億45百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億48百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2億98百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億88百万円となりました。これは、短期借入れによる収入134億円、長期借入れによる収入6億円等の資金の増加要因があったものの、短期借入金の返済による支出133億円、長期借入金の返済による支出12億31百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（平成29年10月31日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績の予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,062,041	2,295,145
受取手形及び売掛金	7,292,369	7,890,781
商品及び製品	3,903,501	3,846,619
仕掛品	399,230	384,339
原材料及び貯蔵品	1,048,137	1,076,712
その他	562,694	472,052
貸倒引当金	△27,689	△29,110
流動資産合計	15,240,287	15,936,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,112,751	4,025,137
機械装置及び運搬具(純額)	1,802,473	1,683,924
土地	5,353,118	5,353,118
建設仮勘定	322,431	352,063
その他(純額)	277,657	284,005
有形固定資産合計	11,868,431	11,698,248
無形固定資産	246,713	269,139
投資その他の資産		
投資有価証券	278,698	306,000
その他	930,596	915,777
貸倒引当金	△23,033	△23,033
投資その他の資産合計	1,186,262	1,198,745
固定資産合計	13,301,408	13,166,133
資産合計	28,541,695	29,102,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,808,533	4,255,205
短期借入金	1,800,000	1,900,000
1年内償還予定の社債	500,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,634,198	2,704,753
未払法人税等	180,935	237,964
賞与引当金	352,839	415,008
その他	1,290,067	1,184,892
流動負債合計	10,566,575	11,097,823
固定負債		
社債	560,000	410,000
長期借入金	5,322,051	4,620,174
退職給付に係る負債	2,070,651	2,074,881
負ののれん	795,490	601,158
資産除去債務	64,401	64,793
その他	204,607	200,962
固定負債合計	9,017,202	7,971,970
負債合計	19,583,778	19,069,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,185,040	2,185,040
資本剰余金	666,419	721,919
利益剰余金	6,598,288	7,552,950
自己株式	△719,999	△629,154
株主資本合計	8,729,747	9,830,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,811	78,572
為替換算調整勘定	120,386	105,118
退職給付に係る調整累計額	△11,998	△5,997
その他の包括利益累計額合計	170,199	177,692
新株予約権	7,550	6,346
非支配株主持分	50,420	18,083
純資産合計	8,957,917	10,032,878
負債純資産合計	28,541,695	29,102,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,381,617
売上原価	10,805,855
売上総利益	3,575,761
販売費及び一般管理費	2,457,167
営業利益	1,118,593
営業外収益	
受取利息	209
受取配当金	2,243
負ののれん償却額	194,332
持分法による投資利益	1,346
その他	61,315
営業外収益合計	259,446
営業外費用	
支払利息	43,322
その他	36,797
営業外費用合計	80,119
経常利益	1,297,920
特別利益	
固定資産売却益	699
特別利益合計	699
特別損失	
固定資産除却損	473
特別損失合計	473
税金等調整前四半期純利益	1,298,146
法人税、住民税及び事業税	277,200
法人税等調整額	61,795
法人税等合計	338,996
四半期純利益	959,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	954,662

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	959,149
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	16,761
為替換算調整勘定	△15,628
退職給付に係る調整額	6,000
持分法適用会社に対する持分相当額	△730
その他の包括利益合計	6,403
四半期包括利益	965,553
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	962,155
非支配株主に係る四半期包括利益	3,397

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,298,146
減価償却費	483,094
負ののれん償却額	△194,332
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	62,168
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,246
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	8,334
受取利息及び受取配当金	△2,452
支払利息	43,322
為替差損益(△は益)	△8,082
持分法による投資損益(△は益)	△1,346
固定資産売却損益(△は益)	△699
固定資産除却損	473
売上債権の増減額(△は増加)	△600,356
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,439
仕入債務の増減額(△は減少)	445,996
その他	△31,484
小計	1,547,966
利息及び配当金の受取額	2,471
利息の支払額	△36,612
法人税等の支払額	△238,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,275,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△298,248
有形固定資産の売却による収入	700
無形固定資産の取得による支出	△49,570
投資有価証券の取得による支出	△1,503
貸付金の回収による収入	352
その他	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	13,400,000
短期借入金の返済による支出	△13,300,000
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△1,231,322
社債の償還による支出	△250,000
ストックオプションの行使による収入	121,482
その他	△28,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△688,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,639
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	233,103
現金及び現金同等物の期首残高	2,062,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,295,145

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	インテリア	編織	産業資材 ・包材	アドバンス テクノロジー			
売上高							
外部顧客への売上高	4,075,284	4,164,473	4,519,470	1,622,387	14,381,617	—	14,381,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	266,075	657,737	110,981	20,969	1,055,764	△1,055,764	—
計	4,341,360	4,822,211	4,630,451	1,643,357	15,437,381	△1,055,764	14,381,617
セグメント利益	408,441	553,883	196,268	130,652	1,289,246	△170,653	1,118,593

(注) 1. セグメント利益については、セグメント間取引消去10,291千円、事業セグメントに配分されていない当社の損益△180,944千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。